

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

基本事項

所管局課	文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課	本市出えん金	55,000	千円
基本財産／資本金	103,000	千円	本市出えん率	53.4 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	存続
-----	----

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	<p>「多様な文化芸術と結びついた京都の豊かな暮らしの深い実感を提供すること」「様々な文化交流を通じて国内外における京都の存在価値感を高めること」を当財団の目指すべき経営展望として掲げ、以下を重点方針とする。</p> <p>①「文化芸術都市・京都」の創生を推進する質の高い音楽芸術・舞台芸術を創造・提供 ②地域の文化力のさらなる向上と社会包摂の取組を推進 ③文化芸術ネットワークの拡充と連携・協働を推進</p>
財務面	<p>管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するため以下のことに取り組む。</p> <p>①中期的な収支の見通しに基づく財務戦略の展開 ②財団全体・各事業部門の財務管理の強化 ③戦略的・計画的な投資等の推進 ④ファンドレイジングの推進</p>
組織面	<p>管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに経営基盤を強化するために以下のことに取り組む</p> <p>①自立的な組織運営 ②働き方改革等への対応 ③組織人員体制・配置等の最適化 ④危機管理体制の確立・運用</p>
その他	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「各施設の利用促進」

取組内容	京都が世界的な「文化芸術都市」として創生することを推進するため、質の高い音楽芸術・舞台芸術を創造・提供するとともに、京都の文化力のさらなる向上と社会包摂を促進する取組を推進し、管理運営施設の利用促進を図る。					
○指標	施設利用料金収入					
採用理由	施設利用料金収入は地域の文化芸術活動の実施状況等に直結するため。平成28、29年度はロームシアター京都のリニューアルオープンに伴い好調であったため、その収入を維持するとともに、他の施設については利用促進に伴う増収を見込んでいる。なお、目標値は、ロームシアター京都、京都コンサートホール、文化会館5館の合計としている。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	754,390	750,637	758,400	758,400	758,400	
実現方法	各ホールの機能強化、コーディネイター機能の向上及び地域のニーズなどの情報収集により、利用促進を図る。					

(2)財務に関する取組

目標「サポーター・パートナー会員収入」

取組内容	中期的な収支の見通しに基づき、財務戦略の展開を図るとともに、戦略的・計画的な投資等の推進を行う。また、会員の方への会報の送付、会員向けバックステージツアーやゲネプロ公開など、より会員の方に事業内容を深く御理解いただき、新規、継続して御支援いただくことにより、会費収入の維持・拡大に努める。ロームシアター京都のリニューアルオープンに伴い増加した実績を踏まえ、前中期経営計画(平成27年～29年度)の目標5,000千円から20%増となる6,000千円を目標とする。					
○指標	サポーター・パートナー会員収入(単年度)の目標値					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	7,120	6,000	6,000	6,000	6,000	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

(3)組織に関する取組

目標1 「経営基盤を強化するための適正かつ弾力的な人員配置」						
取組内容	財団の自立，存在意義を高め，経営基盤を強化するために必要な組織運営面の取組を推進する。また，働き方改革等への対応を行いながら，適正かつ弾力的な人員の構成を図る。					
○指標	適正かつ弾力的な人員構成を図るための具体的なスケジュール					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	—
	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人員体制の確立 ・中長期的に財団を支える職員のプロパー登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正かつ弾力的な人員構成の検討 ・中長期的に財団を支える職員のプロパー登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正かつ弾力的な人員構成の確立 ・中長期的に財団を支える職員のプロパー登用 	—
目標2 「京都市からの派遣職員の削減の検討」						
取組内容	京都市からの派遣職員については，財団と市が事業等で密接に関連しており，一定の公共性を確保したうえで，円滑に施策を推進するために必要最低限の人員の派遣を受けているところである。 現在，ロームシアター京都（京都会館）に関する運営等の安定化を図るうえで，当面の人員削減は困難だが，中期経営計画を推進するとともに，より自立的な経営体制の構築を図り，財団の運営状況や事業の進捗を見極めながら，将来的な組織の在り方や人員体制，人材育成等について検討する。					
○指標	派遣職員数削減に向けた検討スケジュール					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	—
	—	—	財団職員配置と連携した派遣職員数の検討	財団職員配置と連携した派遣職員数の検討	派遣職員を含む職員の適正かつ弾力的な人員構成の確立	—

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。

所管局	<p>当該財団は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、本市と連動した効果的な事業の実施を行うとともに、文化芸術の創造・発信拠点であるロームシアター京都(京都会館)、京都コンサートホール、地域文化会館の指定管理者として運営を行う重要な役割を担っている。</p> <p>各施設の安定的かつ魅力を高める管理運営はもとより、本市と連携した事業の効果的な実施、これまでの蓄積を活かした自主事業の企画に注力し、京都の文化芸術の創造・発信に尽力いただきたい。</p>
-----	--